

VOL.1

MONTHLY

印刷

Useful
Printing
Information

印刷に関する用語、こぼれ話
業界のトレンドなどの情報を
毎号ご紹介していきます。



次号では、
再生紙についてを
予定しています。

SEZAX

本社・工場	〒146-0091 大田区鶴の木2-9-7	TEL 03(3758)2511	FAX 03(3758)2754
		営業専用	FAX 03(3758)2544
渋谷コア	〒150-0002 渋谷区渋谷3-19-1 渋谷オミビル	TEL 03(3400)9211	FAX 03(3409)7315
八丁堀コア	〒104-0032 中央区八丁堀2-19-8 八丁堀ビル6F	TEL 03(5566)1061	FAX 03(5540)8304
取手コア	〒302-0004 取手市取手3-1-1 上田ビル3F	TEL 0297(73)7561	FAX 0297(73)7687
マニュアル企画部	〒146-0092 大田区下丸子3-8-6 ブルーハイツ	TEL 03(5482)2751	FAX 03(5482)2777
下丸子工場	〒146-0092 大田区下丸子2-20-4	TEL 03(3758)2516	FAX 03(3758)8850

株式会社セザックスクリエイティブ

〒150-0002 渋谷区渋谷3-19-1 渋谷オミビル2F TEL 03(3409)4970 FAX 03(3409)2732

株式会社セザックインターナショナル

〒150-0002 渋谷区渋谷3-19-1 渋谷オミビル2F TEL 03(3409)0527 FAX 03(3409)6610



このカタログには環境にやさしい大豆インキを使用しています

この小冊子は再生紙を使用しています。



地球においしい、
大豆油インキ。



地球に美味しい、大豆油インキ。

環境保全意識の高まりとともに、大豆油インキについてのお問い合わせが増えています。大豆とインキ。この一見アンバランスな言葉の組み合わせは、いかなる意味をもっているのでしょうか。今回は、この大豆油インキについてお話しします。

豆腐や納豆でおなじみの、あの大豆を使ったインキがいま世界中で注目されています。

印刷に使われるインキは、色のもとになる顔料を油で練ったもので、その油には石油系の有機溶剤が使用されています。ところがこの石油溶剤、インクが乾燥する際に、大気汚染の原因物質である揮発性有機化合物（VOC）を放出することから、世界的な環境保全意識の高まりとともに問題視されるようになってきました。そこでクローズアップされたのが大豆油インキです。

1980年代のアメリカで、石油溶剤の代替品の研究から生まれた大豆油インキ。その影には、数千種類におよぶ植物油製剤のテストがありました。大豆油は有害なVOCを発生することがなく、また脱墨性に優れ、紙の繊維を損傷することが少ないため、リサイクルにも適しています。さらに、石油に限られた資源であるのに対して、大豆は栽培することで永続的に確保できる

という点も見逃せません。

さて、それでは肝心の印刷における品質はどうなのでしょう。大豆油インキはこの点でも石油ベースのインキと遜色なく、むしろ色の深味や発色性という点ではより優れた特性を示します。つまり大豆油インキは、地球環境にも、印刷にも理想的なインキというわけです。

この大豆油インキを使用した印刷物には、それを示す「ソイシール」の使用が認められます。この世界共通のシンボルマークは、環境保全意識を示すバロメーターといって過言ではありません。アメリカ、ヨーロッパ、アジア、そして日本……。大豆油インキは、もう世界中をその色に染めつつあります。

